

こくどう 2号
国道2号

とおい昔は西国街道、少し昔は山陽道、今は国道2号と、時代のうつり変わりとともに道の様子は変わってきましたが、大事な道であることは変わりません。昔の山陽道に沿って東西に通じる国道2号は交通量が多く、西今宿で東行きの国道2号と西行きの十二所前線に分かれます。

行った日



しもて の じょうさま
下手野地藏様

しもてのまなかあたりにあるお地藏さまは、古くから敬われていて、心のふるさとにもなっています。最初は下手野宇宮ノ前40番地において、土地を記録した本には7坪、実際に測ったら14坪だと書かれていて、たいへん大きなものでした。昭和16年(1941)に来法寺から今の場所に移されたと思われる。

行った日



しもて の じょうやとら
下手野常夜燈

昔の山陽道が夢前川にさしかかるかつての堤防の上にあります。この場所に夢前川の渡し場がありました。下手野村は姫路藩が補助していた宿場町で、桔梗屋など9軒の宿屋がありました。この常夜燈の台になっている石には「桔梗屋」と彫られています。

行った日



しもて の どうひょう
下手野道標

この道標は、昔の山陽道から因幡道・龍野道へと分かれるところに建っています。明和4年(1767)、円光大師二十五霊場の一つである誕生寺におまいりする人たちのために建てられました。

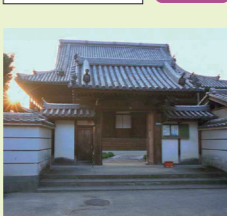
行った日



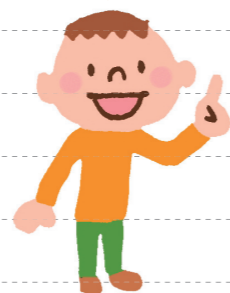
しょうぎょうじ
正行寺

浄土真宗本願寺派のお寺です。慶安5年(1652)8月24日、良如上人から木仏をもらい受けて真宗のお寺として認められたといわれています。文政3年(1820)、建て直しをしたと大阪御着所に伝えて許可されましたが、明治2年(1869)になってようやく建て直しができました。

行った日



調べたこと、
分かったことを
書いてみよう!



たか おか にし ち く
16 高岡西地区

はりまのくにふどきで「播磨国風土記」に出てくる伝説の山々がある地区ですね。姫路城の石は「鬘櫛山」からとったといわれています。昔の人々はどうやって石をとって、運んだのが調べてみましょう。



- 遺跡・史跡
- 歴史上の名所
- 神社・仏閣
- 歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り
- 伝統行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

ほぐりやま
蛤山

蛤山は、播磨国五ノ宮といわれた高岳神社があった山で、磐座としても有名な山です。高岳神社の御神体になっている大きな岩に蛤の化石が出るとか、このまわり全体に蛤の化石があるなどといわれています。御神体の岩を蛤岩といいます。

行った日



びんくしやま
鬘櫛山

「播磨国風土記」という本の伊和里のお話に出てくる十四の丘のうちの一つ「匣丘」は、鬘櫛山ではないかと考えられています。鬘櫛山は石の産地としても知られていて、「播磨鑑」という本には、姫路城をつくる時の石はこの山からもとったと書かれています。

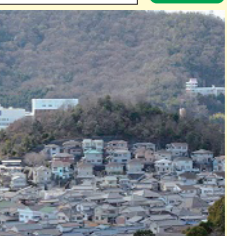
行った日



ふなこしやま
船越山

「播磨国風土記」という本に出てくる「匣丘」は船越山という考えもあります。梳篋というのは、大昔の女性が櫛や髪飾りなどを入れた箱のことで、大汝命の船が遭難して、積んでいた梳篋が落ちたところを匣丘と名づけたと伝えられています。

行った日



やすおろじんじや
安室神社

明治12年(1879)の「飾磨郡神社明細帳」には、まつられているのは蛭子命と書かれています。いわれや建てられた年代は分かりません。境内の広さは483坪で、奥津姫命をまつる夢見神社と倉稻魂命をまつる富貴神社があります。

行った日



らいほうじ
来法寺

元和3年(1617)10月、大圓により開かれました。寛文年間ごろに、貞照院にしたがって東派というグループになった真宗大谷派のお寺です。

行った日

